PART4 練習問題解説

問一 「この事も果てにしむつかしさに…」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア 格助詞　イ 完了の助動詞「ぬ」の連用形
ウ 断定の助動詞「なり」の連用形　エ 副詞の一部
オ 接続助詞　カ 形容動詞の連用形活用語尾

問二 「思へるにや。」に含まれる助動詞「る」「に」の文法上の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1 「る」は自発、「に」は完了　2 「る」は自発、「に」は断定
3 「る」は受身、「に」は完了　4 「る」は受身、「に」は断定
5 「る」は存続、「に」は完了　6 「る」は存続、「に」は断定

問三 二重傍線部a・b「に」の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

「元の帯[a]にはあらねども、むなしく失ひて…」
「手をすりて、とりてまかり[b]にけり。」

1 断定の助動詞の連用形　2 接続助詞　3 格助詞　4 動詞の連用形活用語尾
5 完了の助動詞の連用形　6 形容動詞の連用形活用語尾　7 副詞の一部

a＝　　b＝

問四　a～eの「に」の説明として、最も適当と思われるものを、次のア～オからそれぞれ選べ。

「この所を見る[a]に、憂き世ながらかかる所もありけりと、～」
「ここかしこ[b]に鈴の音などを聞くにつけても、～」
「雲居遥か[c]に心を送るしるべとぞなりにける。」
「思ひしづむる時なき[d]にしもあらねば、～」
「なほ思ひ慣れ[e]にし夕暮れの眺めにうち添ひて、～」

ア　完了の助動詞「ぬ」の連用形　　イ　単純な接続を表す接続助詞　　ウ　形容動詞の活用語尾
エ　断定の助動詞「なり」の連用形　　オ　場所を表す格助詞

a＝　　b＝　　c＝　　d＝　　e＝

問五　「みな乱世にてはべれば、わろき事にてのみあらんずるをはばかりて、…」の傍線部と文法的に同じものを、次の中から選べ。

1　年にそへ日にそへては、…
2　道理もあはれにおぼえて…
3　すでに残り少なく、…
4　人も申し置かぬにやと、…
5　衰へにたることわり、…

【識別総合練習問題】

問六　傍線部ａ～ｆについて、文法的に正しい組み合わせを次の中から一つ選べ。

人がらなりければ[a]にや、…
女はえ詠ま[b]ぬにや、
なかなか[c]に、半ばなる月を見る心地するに、…
この花やがてにほは[d]なむ。
皇子出で給ひ[e]ぬれば、…
見ずなり[f]なむこそあはれなれと、…

イ　ａ「に」とｃ「に」が同じ。
ロ　ｂ「ぬ」とｄ「な」が同じ。
ハ　ｂ「ぬ」とｅ「ぬれ」が同じ。
ニ　ｄ「な」とｆ「な」が同じ。
ホ　ｅ「ぬれ」とｆ「な」が同じ。

〈Memo〉

第17講　PART4　確認問題

①　「男帰りにけり。」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　格助詞　　イ　完了の助動詞「ぬ」の連用形　　ウ　断定の助動詞「なり」の連用形
エ　副詞の一部　　オ　接続助詞　　カ　形容動詞の連用形活用語尾

②　「はたいふべきにあらず。」に含まれる助動詞「べき」「に」の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　「べき」は当然、「に」は完了　　イ　「べき」は当然、「に」は断定
ウ　「べき」は適当、「に」は完了　　エ　「べき」は適当、「に」は断定
オ　「べき」は禁止、「に」は完了　　カ　「べき」は禁止、「に」は断定

③　傍線部ａ・ｂの「に」の文法的説明の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

せむかたなくあはれ（ａ）におぼえて、…
独（ひと）りはよ（ｂ）におはせじな。

〈文法的説明〉

1　断定の助動詞の連用形　2　接続助詞　3　格助詞　4　動詞の連用形活用語尾
5　完了の助動詞の連用形　6　形容動詞の連用形活用語尾　7　副詞の一部

ア　ａ＝1　ｂ＝2　イ　ａ＝5　ｂ＝3　ウ　ａ＝2　ｂ＝5
エ　ａ＝6　ｂ＝7　オ　ａ＝3　ｂ＝4　カ　ａ＝4　ｂ＝1
キ　ａ＝7　ｂ＝6

④　傍線部a～cの「に」の説明の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

あやしがりて寄りて見るに[a]、…
ふるまへる姿も、文字遣ひなども、はるかに[b]まさりて聞こゆ。
親、あわてにけり[c]。

1　完了の助動詞「ぬ」の連用形　　2　単純な接続を表す接続助詞　　3　形容動詞の活用語尾

ア　a＝1　b＝2　c＝3　　イ　a＝1　b＝3　c＝2
ウ　a＝2　b＝1　c＝3　　エ　a＝2　b＝3　c＝1
オ　a＝3　b＝1　c＝2　　カ　a＝3　b＝2　c＝1

⑤　「古今の草子を御前に置かせたまひて、…」の傍線部と文法的に同じものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　あまたたびいふ声にぞおどろきて見れば、…
イ　いと所せく、いかに覚ゆらむ。
ウ　さらにかやうのすきずきしきわざ、…
エ　例のやうにては、にくげにさぶらはむ。
オ　今の翁(おきな)、まさにしなむや。

〈Memo〉

第17講 PART4 解答

問一　イ
問二　6
問三　a 1　b 5
問四　a イ　b オ　c ウ　d エ　e ア
問五　4
問六　ホ

第17講　PART4　確認問題　解答

〔解説〕

①「に」は、ラ行四段活用の連用形に接続しているので、「完了」の助動詞。よって、イが正解。

②「べき」は文脈判断をする。比較・選択の文脈ではないので「適当」ではない。また、「べき」に禁止の意味はないので「当然」。「に」は連体形に接続し、下に「あら」があるので、「断定」の助動詞。よって、イが正解。

③ aは「あはれなり」とできるので形容動詞。また、bの「よに」は副詞の一部。よって、エが正解。

④ aは「連体形＋に」なので接続助詞。bは、「はるかなり」とできるので形容動詞。cは、タ行下二段活用動詞の連用形に接続しているので、「完了」の助動詞。よって、エが正解。

⑤「体言＋に」で、「である」と訳せないので格助詞。同様に探すと、アに「声＋に」とある。よって、アが正解。

〔解答〕

①　イ　②　イ　③　エ　④　エ　⑤　ア